



留学生と語り合う No. 89

RKK ニュース (2022 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

ICT推進委員会の経過

ICT推進委員会
2021年6月からRKK内にICT推進委員会として正式に活動を開始しました。ICTとは、Information Communication Technologyの略で、RKK内で課題となるであろうICT情報に関して支援できる組織を狙っています。

2020年から始まったコロナ禍の中で、RKKの中心となっている留学生との対面での対応は厳しい状況となりました。全世界的にもコミュニケーションの手段として、オンラインでの対話、会議が急速に発達して、多くの組織が取り入れました。RKKの留学生との面談もオンライン、対面の両方を利用して継続しましたが、オンラインの活発化を図るために、各地域の交流会をはじめとして講習会を実施してきました。2021年6月からは、より活発化させるために、委員会としての取り組みを進めています。

1. RKKのオンラインに関する調査

2021年12月に85号ニュースで紹介しておりますが、70%以上の方が、オンライン（ZOOM等）を利用して留学生との対話を実施しています。今後はより100%へ近づけるためのフォローを検討しています。コロナ禍が収束したのちでも、オンラインの利用はメリットもあると思われ、一つの手段として利用していられると思います。

2. 2022年の委員会での活動内容

対面のみならず、コミュニケーションの対応策として、各地域のICTメンバーを通じて課題を整理しています。委員会として会員皆さんからの要望も希望いたします。具体的な活動内容は8ページをご覧ください。（永作重夫）

Progress of the ICT Promotion Committee

ICT Promotion Committee
From June 2021, the ICT Promotion Committee has officially started its activities within the RKK. ICT is an abbreviation for Information Communication Technology, and we are aiming for an organization that can provide support regarding ICT information, which will be an issue within the RKK.

Amid the COVID-19 crisis that began in 2020, it has become challenging to deal face-to-face with international students, who are the core of the RKK. Online dialogues and meetings have developed rapidly as a means of communication worldwide and have been adopted by many organizations. Interviews with RKK international students continued using both online and face-to-face, but in order to revitalize online, we have held seminars such as exchange meetings in each region. From June 2021, we are working as a committee to make it more active.

1. Survey on RKK Online

As introduced in the 85th News in December 2021, more than 70% of our members use online (ZOOM, etc.) to interact with international students. In the future, we are considering a follow-up to bring it closer to 100%. We believe that even after the Corona disaster is over, the use of online is still beneficial and will be used as one means of communication.

2. Activities of the Committee in 2022

In addition to face-to-face communication, we organize issues through ICT members in each region as a countermeasure for communication. As a committee, we look forward to receiving requests from our members. (Shigeo Nagasaki)

Information on RKK tour event No.74

RKK 第74回見学会開催のご案内

- Date: December 3, 2022 (Sat.)
- Meeting: 10:30 a.m. at Hayakawa Station of JR Tokaido Line (one exit)
- Visiting Places: Odawara fishing harbor and Odawara castle

For details, scan the QR code and find the above event.

Please register for participation.



<http://rkk.world.cocan.jp/pdf/kengakukai74.pdf>

留学生からのたより

My Research Theme

Yokohama National University, Elina Uehara (Mexico)



In Mexico, there are a large number of indigenous people from different backgrounds. Unfortunately, those groups are vulnerable to discrimination from the government and even from Mexican society. However, in indigenous communities, there is another social issue, gender inequality. Indigenous Women suffer two types of discrimination, of being indigenous and women.

Currently, I am in my first year as a Master's Student at the Yokohama National University. I am studying in the area of Humanities and Social Science. My research theme is about the Empowerment of Indigenous Women in Mexico. Through my research, I am looking to find a way that they could be more visible in society. I would like to teach them the importance to be indigenous women and how they can give a positive economic and social impact on their families and communities.

Probably you would be asking, why did I choose to do my Master's in Japan since my research topic is related to Mexico? Why didn't I decide to do my Master's in Mexico? I believe that Japanese Universities have excellent academic research. I was surprised that there are many Japanese academics doing an investigation of different countries and cultures.

In addition, I am really happy to be part of RKK group. They found me an excellent tutor according to my requirements of improving my Japanese to the next level. Also, in the past, my tutor made research on women's empowerment so we have discussions in Japanese about this topic.

活動グループ紹介

日本語支援グループ

さまざまな留学生

中央地区 服部牧子

早いもので、RKK に入会してちょうど 20 年過ぎました。途中でお休みしたこともありましたが、なんとか続けてこられたのを皆様に感謝いたします。

この間、主に日本語支援に関わってきました。大学生、大学院生、主婦、中学生、海外の大学生で短期来日者、日本で仕事をしている社会人等々、さまざまな人に出会うことができました。また日本語学校に勤務し、専門学校、大学、大学院をめざす留学生を教えていた期間もありました。

異なる環境で出会った留学生について感じたことがあります。RKK で出会った学生と日本語学校で出会った学生で大きく異なっていることは何でしょうか。もちろん中には例外の学生もいますが、それは、日本語を学ぼうという積極的な姿勢です。人により程度の差はありますが、そもそも、自分から進んで、普通の学校での勉強以外に日本語を勉強したいという意識はすばらしいものだと思います。

日本語学校には、親から日本に行って勉強するように強制され、いやいや勉強している学生、ゲーム中毒から抜けさせず、日本の学校に来た学生、仕事のために（お金を稼ぐために）来て、ほとんど寝る時間もない学生等、毎日つらい思いをしている学生もいます。

専門学校や大学受験をめざして勉強していても、思うように日本語が上達せず、あきらめて投げやりになってしまう学生も多くいます。日本語学校の先生たちは、折れそうな心をなんとか奮い立たせて、がんばっています。もちろん向上心あふれる熱心な学生もいます。日本語学校に通う学生の名誉のために。

どんな環境にある人でも、日本語を勉強して、上達したいという思いはその強さは異なりますが、みんな持っています。その願いをほんの少しだけでも手伝えることができれば、自分自身の喜びにもつながります。学生の喜ぶ顔が見られるように、これからも関わっていきたいと思います。

わたしの日本語支援

中央地区 桑波田ひとみ

日本語支援最初の頃の失敗です。「三国志の諸葛孔明って知ってる?」、「えっ誰ですか? ショカツコウメイ?」、首を傾げる中国人留学生に、三国志は中国では、有名じゃないのかしらと考えてしまいました。そうです、中国語では読み方が、違うのです。(笑)

「なんで、三国志は日本で有名なのですか?」 その質問に、日本語教授法の文法で、一杯だった私の頭の中は、真っ白になってしまいました。わからない質問には、「次回調べてお伝えします」と答えるといいよ、という先輩の言葉を思い出して、そのように言いました。

現在は横浜国大大学院生で JICA の奨学生 E さんと勉強しています。E さんはメキシコ人、母語はスペイン語、修士論文は英語、就職のため日本語能力試験 N2 を受験します。N2 は、言語知識、読解、聴解の三分野で 180 点満点中 90 点位が、合格ラインといわれています。初回到 E さんと前年度問題を解きながら、読解と語彙が苦手と分かりました。12 月まで時間も少ないので、N2 の過去問を解きながら、日本語文章、設問に慣れるという練習をしています。E さんの論文テーマは「メキシコ少数民族女性のエンパワーメント」ですが、偶然、私もアジア少数民族女性のエンパワーメントを勉強したことがあり、女性エンパワーメントの話題で、盛り上がっています。メキシコ少数民族を、知ることができるなんて、好奇心でワクワクです。

一期一会、せつかくの御縁、楽しい時間が持てるように、と願っているのが、私の日本語支援です。

社会・工場見学グループ

ぼうさいたいけんしせつがくかがくみらいかん けんがく
防災体験施設と科学未来館の見学



わたし ちゅうごく
私は中国から来た陳紫薇と申します。今、創価大学の修士2年生で社会
けんきゅうか しよぞく
研究科に所属しております。初めて RKK の見学に参加し、いろいろ勉強になり
ました。

くがつじゅうよつ か ぼうさいたいせん かがくぎじゆつ たいけん せんせい
9月14日に防災対策の勉強と科学技術の体験のため、RKKの先生たちと
いっしょ とうきょうとうこう とうく い area とうきょう ぼうさいたいけん
一緒に東京都江東区に行きました。まずは、そなエリア東京という防災体験
がくしゅうしせつ center じしんはつせいご じかん たいけんがくしゅう tour
学習施設センターで地震発生後 72時間の体験学習ツアーに参加しました。1

一人一つ tablet も もんだい と
人が一つタブレットを持ち問題を解きながら防災を学べ、施設内は災害時を想定した街中を再現してありリアルな感
じが本格的です。実は私は日本に来る前に地震に遭ったことがなくて、これを機に、災害にあってしまった時の
いし ま たか
意識を高めるだけでなく、もし地震にあったら、生き残りの生存力を身につけることができました。とても貴重
な体験だと思えます。

お あと いっしょ にほんかがくみらいかん しゅつぱつ なか
地震体験学習ツアーが終わった後、私たちは一緒に日本科学未来館に出発しました。未来科学館の中には
energy しぜん せいたい robot たくさんのおお corner なまえどお みす 素晴らしい施設だと思
エネルギーや自然、生体、ロボットなど多くのコーナーがあり、名前通り未来を見据え、素晴らしい施設だと思
いました。私が一番興味を持ったのは 5階に設置された医療コーナーです。日本科学者のビデオを見て、未来の薬
い でん し
として遺伝子によって効果がある鎮痛剤などの薬を早く実現して欲しいものだと強く感じました。

今回の見学のおかげで、日本の最先端の技術開発や過去のイノベーションの中身をたくさん見ることができました。とても有意義な一日だと思い、今後もぜひRKKの見学に参加できればと思います

〔RKK 社会・工場見学 G の報告〕

第 73 回 そなエリア、日本科学未来館見学 (2022 年 9 月 14 日実施)



3 年ぶりにやっと第 73 回の社会工場見学を実施することができました。第 7 波のコロナ禍でしたが、体温測定、マスクの着用、アルコールでの消毒、SD の確保を前提として、取り進めました。留学生も 2 名の予定でしたが、最終的には、1 名参加、そして RKK メンバーは 11 名参加と復活することができました。今後も注意しながら活動を進めてまいります。(永作 重夫)

外国語学習グループ

中国語講座

中国語は難しいけれど学習は楽しい

谷口由美子



中国語学習を始めましたが、中国人と話す機会がありませんでした。友達が中国人と交流しているという話を思い出してよくよく話を聞いてみるとこちらで日本語学習支援をしているということでした。『RKK のホームページを見てごらん』と勧められてホームページを見て見つけたのがこの中国語勉強会です。早速申し込むと快く仲間に入れてくださいました。

皆さん本当に熱心で長く続けていらっしゃるのに驚きました。毎回ちょっとした緊張感と和気あいあいの雰囲気の中で授業は進んでいきます。講師の先生は大変ご苦労されていると思います。学習者のレベルがいろいろ、初級者からかなりのキャリアの方までいらっしゃる、学習要求がまたいろいろ、正しい発音を身に付けたい・会話表現がやりたい・短文が書けるといい等々。希望が多岐にわたるうえに、常時 10 余名の学習者が参加しています。しかし先生はすべてを取り入れて授業を構成してくださっています。予習復習用の資料も準備してください。本当に敬服しております。そしていつも冷静沈着でスマイルを欠かしません。

今は Zoom の授業なので一度に一人しか発言できないし、グループ練習もやりにくいのでこの人数では学習の効率が悪いかとも思いました。対面授業と両方体験してみたいです。日本人にとって漢字は親しみやすいけど、中国語はやっぱり外国語、手ごわいです。発音は難しいし、易しい漢字ほど使われ方がたくさんあってどう翻訳していいかわからないのです。日本語は単語をつなげていけば大体の意味がつかめるけれど、中国語ではそれが通用しません。落ち着いて語順を正確に追っていかなければ…と日々自分に言い聞かせ格闘している毎日です。いつか家電量販店の中国語店内アナウンスが聞き取れる日が来るといいな、と願いながら楽しく学習を続けています。

RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

掲載ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/>

上記の URL を左クリック、または巻末の QR コードを読み取ってください。
広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

ベトナム語講座

ベトナム語講座で相互理解！

横浜国立大学大学院、Phung Thi Xuan Huong（ベトナム）

Xin chào! 私は横浜国立大学の留学生 Huong と申します。2021年9月からRKKベトナム語講座のインストラクターをしています（1年1ヶ月）。講座の皆さんが、ベトナム語を学ぶことのお手伝いをした1年間の旅を振り返ると、たくさんの美しい思い出があり、とても感動的でした。

皆さんは一生懸命勉強しています。中には48レッスンを1日も休まずに受講したメンバーもいます。その一生懸命な姿勢と努力に、私は大いに刺激を受けました。私たちのコースが他のコースと違うのは、私の日本語能力が不十分なままでレッスンをしていることです。そのため、ベトナム語と日本語の双方向の学習となっています。授業では日本語や日本文化について、メンバーから多くのことを学びました。

私が日本語を理解するのが難しい時、ボランティアとして皆さんは、心優しく、忍耐強く、明るい性格で、「やさしい」日本語を使ってくれました。毎回、その親切な理解力と繊細さに、深く感謝しています。



この講座の主催者であるRKKが、私自身のやり方で自由にクラスをデザインし、実施することを許可してくれたことに、とても感謝しています。ベトナム語の実践を通じて相互理解が出来て、とても親しみを感じています。内容は「Khi đến Việt Nam, tôi muốn mua ___」「ベトナムに行ったら、___を買おうと思っています。」；Tôi thích___「私は___が好きです。」などとてもシンプルですが、お互いを知るのに役立ちます。

この講座は言語だけでなく、文化を学び、他の国や人々を理解し、友情を築こうとするものです。私の母国と日本への愛は、共に大きくなっています。ベトナム言語や文化に興味を持ち、真剣に勉強している講座の皆さんに、深く感謝します。そして、このコースを企画し、クラス運営を手伝ってくださった深水さん、山崎さん、下村さん、萩原さんに心から感謝します。Xin chân thành cảm ơn!（心から感謝します）

地区からの便り

東地区

病気になった留学生を支援

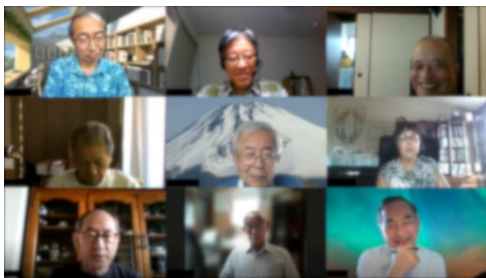
田中和生

東地区の9月の定例会では、2名の会員から支援対象者の新型コロナ感染の報告がありました。幸い無事回復されたそうですが異国の地での感染で不安を訴えていたそうです。

ところで、私の支援対象者は、ある病気のため精密検査を受け、検査結果の説明を受ける事になりましたが、日本語は十分に話せません。横浜市のボランティア通訳派遣制度がありますが、医療は対象外となっています。また、横浜国立大学には、学生が外国人留学生の学習や生活を支援するチューター制度がありますが、トラブル防止のため医療通訳はしないよう指導されています。どこからも支援が受けられな

いことが分かり、私が仕事を休んで病院に付き添いました。幸い重度なものではなく、一安心しましたが、今回の体験から日本語が十分に話せない外国籍の方が病気にかかった際の課題を痛感した次第です。

後で調べて分かったことですが、横浜市は医療機関向けに「電話医療通訳サービス」を提供しています。導入医療機関はインターネットで「横浜市電話医療通訳サービス」と検索すると分かります。対応言語は、英語、中国語（北京語・広東語）、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語です。尚、個人が直接利用することはできない為、受診前に我々の様な支援者が、留学生に導入医療機関を紹介し、受診前に医療機関に一言伝えておくとスムーズに受診出来ると思います。



南地区

久しぶりの対面で意見活発、大盛り上がり

原田 勝史

南地区会では9月25日(日)13:30から中区民センターで7名が参加し、2020年9月以来の「対面での交流会」を開催しました。最初に布津さんから、「当会場の中区民センターで利用団体が一堂に集う“なか区民活動センター祭り”が4年ぶりに11月13日(日)10時~16時で開催されることが決まり、RKKも参加するので南地区会で全力を挙げて協力してもらいたい」という話があり、南地区全会員へもPRすることになりました。更に、来年4月には関内駅前に関東学院大学の国際交流関係の学部などが移転し、神奈川大学も昨年みなとみらいキャンパスに国際交流関係の学部が移転しており、RKKとしても各大学に対して留学生へのPRに力を入れたいとの報告がありました。その後、参加者各人の近況報告があり、コロナ禍でも各人でいろいろ工夫しながら留学生と交流を続けている話や、ITC推進委員会の活動状況報告、そして留学生の資格範囲を巡る喧々諤々の議論など、久しぶりの顔を合せての会合で和やかな中にも活発な意見が出て大いに盛り上がりました。参加者からも、“久しぶりの対面で話がしやすかった、顔を合せての会合だと意見も出やすく活発な会合になるので、今後も交流会はできるだけ対面が良い”等の意見も出ました。最後に、次回交流会は2023年1月に開催することを確認し散会しました。



西地区

「とつかお結び広場」へポスター出展！

小島明子

西地区では「第13回とつかお結び広場」の企画で「活動紹介！パネル展示」に出展することになりました。企画の目的：市民に戸塚区内と近隣地域にある市民活動、生涯学習活動、ボランティア活動を紹介し、活動を知る機会と参加するきっかけを提供し、新しいつながりの創出を目指します。RKKの活動を広く紹介するために、みんなで意見を出し合い分かりやすいポスターを作成し展示します。展示期間は11月18日(金)13時から12月4日(日)16時まで。会場は戸塚区総合庁舎3Fアートコリドーです。RKKに関心を持って下さり、熱意あるお仲間と新しいつながりが出来るよう願っています。皆さまも是非会場に足を運んで頂ければ嬉しく思います。



RKKニュース作成への参加をお願いします。

RKKニュースを年4回発行しており、そのつど企画、原稿依頼、編集、校正、発行を行っています。編集で使うWordの利用法は毎回ほぼ同じで、難しいことはありません。編集作業の当番は年1回程度です。その他の作業は共同/分担で行っています。紙面作り、コミュニケーションに少しでも興味のある方、一緒にニュースを作りませんか。編集会議へのオブザーバー参加は大歓迎です。ご希望の方は下記までご連絡下さるようお願いします。いつも広報委員会にご協力を頂き有難うございます。

連絡先e-mail : rkk1025office@yahoo.co.jp (広報委員会宛と記してください)

広報委員会

委員会・懇談会情報

キャリア支援委員会

留学生と就職活動

石塚敏明



昨年3月入会しました石塚です。不慣れながらも楽しくかつ悪戦苦闘した一年間でした。ささやかな経験談にお付き合い下さい。

初めての担当留学生 A 君は中国国籍ながらも出身はウイグル族、諸般の事情で日本での就職を決意していた。千葉大博士課程4年生で年齢は30歳。薬学専攻で世界的メーカーの研究職希望。難航が予想される。既に何社か就活のエントリーシートを提出していたが結果は全て不採用。提出物を見せてもらうと専門用語が多くさっぱり分からない。上場企業の内定が出る8月までの就活短期決戦の始まりでした。しかもコロナ禍で対面が出来ず全て ZOOM レッスン。まずは解り易い言葉と結論を先に書くビジネス文体の習得。研究者社会で過ごしていたため解り易い言葉そのものが全く分かってない。こちらが薬学学生となったつもりで専門用語を一字一句やさしい言葉に置き換えた。研究論文は結論を最後に持ってくるが、就活も含めビジネス文書は結論が先。何度も何度もエントリーシートの添削を繰り返し、初めの3行で採用担当者の心を掴めと指導した。そして最大の関門は面接対応。本人は全く自

信が持てない。パソコン越しに面接練習を繰り返す。初めは記憶に頼って話すだけで不自然極まりない。面接官と友達になるつもりで気楽に話せと教え自信を持たせた。

3ヶ月もすると、徐々に手応えが始め面接に呼ばれるようになる。複数の日本人学生と留学生1人のグループ面接も通過した。最終的にグローバル食品メーカーへの就職が決まり本人も自分も心底安堵した。日本人学生にとっても羨望の有名企業だ。いまは初めての大阪で、学業と別世界の経理部に配属され簿記の勉強に励んでいる。ボランティアには緊張感と責任感に満ちたレッスンの連続でしたが、自分自身にとっても久々に緊迫感を味わうことが出来て貴重な経験となりました。有難うございました。

久しぶりの就活支援

鈴木 隆



以前に日本語支援していた中国人留学生と今年の春に久しぶりに話す機会があった。彼女は来年に修士卒業して中国で働く予定だったが、日本で就職したいと言う。なんでも母親から今は景気が悪く失業率も高いので日本で就職する方が良いと連絡があったそうだ。それで久しぶりに履歴書やメールの日本語チェック、などの就活支援を行なう事になった。新聞やネットで中国がゼロコロナ政策で景気が悪いとは聞いていたが、思わぬところで実感するはめになった。彼女の話では大学同期で解雇されたが仕事が見つからないという友達も多いとの事だった。「同期の友達みんな部屋無し、仕事無し、彼女無し、ですよ」と一寸深刻な話題を冗談まじりで笑って話していた。

日本でも今頃から就活を始めるのでは遅いのではと心配していたが、やはり新卒採用では就活開始が遅すぎて、転職者対象のスマホの就活アプリを使用しているらしい。日本と中国に関係する仕事で、貿易や物流に関する会社を希望しているようだ。ただ中国での就業経験が4年だけという事もあり、現実はなかなか厳しいようだ。今までに20社以上エントリーをしたが、8月末現在でまだ内定がもらえていない。なんでも年齢制限で書類審査が通らないケースだとか、ネットで大学卒業年などを入力する段階で、数字が範囲外で入力が出来ないといったケースがあると怒っていた。「お祈りメールは本当に嫌いです」と言うが、こちらが深刻に捉えがちな話題も明るく笑いながら話す彼女には感心させられる。きっと何とかなる、と思っているのかもしれない。そんな彼女の芯の強さも感じる。現在は最終面接があるという会社や、これからインターンシップをやる予定の会社など数社に希望を託しているようだ。彼女の明るい笑顔に健闘を願わずにはいられない。出来るだけ支援するから遠慮せずに相談して、と言ったらまた笑顔でお礼を言われた。ただ実際は大してこちらが出来る事はないのかもしれないが。

ICT 推進委員会

2022 年の委員会での活動内容

永作重夫

各地区からの ICT 推進委員会メンバーによるオンライン会議にて、その都度の課題を議論して、整理し、必要なものは、情報提供を実施します。本年度の活動内容と経過は以下のようです。

活動名	活動内容	経過
・委員会活動の骨子	・ RKK 全体のオンラインに関する相談窓口対応および活動 G、地区との調整	・ ICT 推進委員会定例会議 (4 回/年) での調整
	・ 必要に応じて各地域の ICT 推進委員会メンバーによる個別対応	・ 交流会でのフォローアップ
	・ 講習会の開催一地区毎、活動 G のオンライン対応	・ 最近ではほぼオンライン対応済み、新規のオンライン講習会は未実施。
	・ 情報共有の提示 (RKK ニュース等にて)	・ 必要情報をその都度メールにて提示。
・ 具体的活動	・ ZOOM 等のオンラインソフトへのガイドブックの収集及び整備	・ 本、CD の購入は可能なれど、管理の仕方を検討必要。
	・ ZOOM 有料対応への必要性検討 (多人数での会議等のため)	・ 数人単位であれば、40 分毎での対応で当面は不便なれど可能。
	・ 他ソフト (teams, googlemeet 等) と比較	・ zoom, googlemeet, teams の比較実施。
	・ より安全なオンライン対応への提言 (RKK ニュース等にて)	・ 諸対策の検討確認中。
	・ Cloud 等の機器の対応に関する検討	・ RKK の組織として Cloud で対応するかは、管理を含め検討事項。
	・ パソコン等の教育資料として Youtube 講座紹介	・ いくつかの教育用 Youtube 講座紹介
	・ 日本語勉強アプリ、論文対応アプリの検討	・ 会員への問い合わせ検討。
	・ ハイブリッド対応について	・ オンラインと対面を共有するハイブリッドの RKK での必要性の検討。
・ Windows11 に関して	・ Windows10,11 に関してコメントはパソコンにより複雑なので提案しない。	

RKK 運営懇談会

RKK 運営懇談会の取り組みについて

深水智明

これまでの 20 年間の留学生支援で、留学生、その人としての成長期にあつて、その喜びや苦勞を見守り、そして感謝の言葉をもらう時、多くの方々から嬉しさ、やり甲斐の感想を戴くことがあります。これからも私共が末永くボランティアの喜びを得るために、創立 20 周年を越えた今、活動などを考える時期かと思われれます。そこで、総会に諮り、運営懇談会として、RKK の将来を見据えた上で、これからの課題などを洗い出し、考える機会を設けました。

現在、準備段階ですが、役員の方を中心に有志スタッフの協力も得て、これまでに RKK の将来を見据えた上で、多くの問題点、課題を挙げていただきました。現在、その内容を整理し、懇談会に備えるために議論の枠組みの整理を始めているところです。当懇談会は、将来にかかわる問題でありますので、じっくり、長期的に継続して取り組む所存です。

なお、アンケート回答では、皆さんが関心をもたれている RKK の問題点・課題について忌憚のないご意見を戴きました。その要点は、魅力ある活動 (活動の活性化)、それによる会員、留学生の加入等々であろうかと受け止めています。様々な具体的ご意見がありますので、今後、順序立てて懇談、議論し、論点を絞り込み、できれば活動等の施策に寄与できればと考えています。上記の視点で多くの皆様からご意見を戴きたく、よろしくお願ひします。

トピックス

横浜国大 IMP 留学生研究発表会に参加



9月15日、横浜国大 IMP15期生の研究発表会がハイブリット形式で開催されました。15期生が2名と少ないため、従来とは趣向を変え既卒業者も zoom を活用して参加しました。タンザニアからの留学生は首都ダルエスサラムの都市公共交通体系の改善をコロンビア、ボゴタ市の例を参考にして研究発表しました。パキスタンからの留学生はパイプ内を流れる流体に発生する渦を阻止、減少させるための研究発表でした。12期生のインド人留学生は zoom で、母国に帰国後にしている土木関係の業務について発表しました。発表会の合間には先生が Queen の Don't stop me now を歌われたくさんの方がダンスを披露されました。zoom 参加者は30名あまりで RKK からは4名が参加しました。

IMP (Infrastructure management Program) 制度は日本政府、世銀の奨学金により発展途上国の学生を日本に招き2年間研究を行うもので1995年に開始、RKKは2007年より交流を行っています。(徳屋英生)

ベトナムフェスタ in 神奈川 2022



9月10日から12日まで、3年ぶりのベトナムフェスタが開催されました。今年で6回目になり、神奈川県庁、日本大通り、象の鼻パーク&テラスの会場には、ベトナム文化との交流を深めるために、民族芸能、ベトナム料理を披露するステージやブースが準備され、多くの参加者で大賑わいでした。県庁の大会議場では、日本語学校、専門学校を主体とした留学生スピーチコンテストが開かれ、上手な日本語で「私の夢」を発表されていました。

RKKからは、ベトナム語講座に参加している会員が、日頃のベトナム語勉強の実践体験、そして美味しいベトナム料理（バインミーやファオ等）を楽しみました。(萩原 敦)

会員からのたより

私の心の宝物

西地区 杉田慶子

以前（もう数十年前になりますが）日本に留学されていたベトナムのソンさんとは、今も娘と一緒にラインで交流が続いています。コロナが問題になった折にもいち早く『大丈夫ですか』と片言の日本語で（娘宛には英語で）ラインメールが届きました。娘が仕事でハノイに行った折にはご家庭にまで招待して下さったと喜んでいました。過日ソンさんが友人に会うために来日された折には浅草を案内しました。

最近ではコロナの関係で、ハノイでの乗り継ぎが翌日以降になっても空港の外に出ることが出来ないようで、ソンさんに会う機会がないと娘は残念がっています。先日（9月上旬）のラインメールで見るソンさんは当然ながらおじさん顔になっていて苦笑いしてしまいました（私も同じでおばあさんになっているのですが）。最近では留学生を支援していないので、留学生との交流は他にはなく、ソンさんとの交流は私の心の宝物になっています。ハノイに行く機会があればよいと思いますがもう海外に出かけるのは無理でしょう。ソンさんが来日される機会を待つことにしています。

留学生から得たもの

中央地区 村田威雄

留学生から立派にやっているという便りをもらおうと嬉しいものです。後輩に何か伝えたいことはありませんかと尋ねたら、「頑張れば可能性は無限です。頑張ればなんでも出来ると信じて欲しいです。」と返事してきました。「万巻の書を読み、千里の道を行く」を座右の銘にして教員を目指している人もいます。若いということはすばらしいですね。及ばずながら見習わなくてはと思います。

RKK との出会い

西地区 西岡 誉富

RKK が戸塚で留学生との交流の説明会を開いた(1999 年?)。暫くして、舞岡地区センターで大田さんが RKK の説明会を開かれた。偶々その話を聞く機会があり、その縁で 2003 年 RKK に入会した。留学生との交流は弘明寺の留学生会館ではじめた。モンゴル、ベトナム、ミャンマー、韓国、中国からの留学生の皆さんと交流できた。当時、RKK でもホームステイ/ビジットに力を入れ、我が家にも皆さんを招き、明学のカナダの交換留学生とも交流できた。



2004/明治学院大学にて

2005/6 月からティファナ(メキシコ)日本人協会の日本語学校で 1 年弱日本語教師を勤めた。生徒は当時この地に進出していた日系企業とその関連企業に勤める現地の人たちや日系 2 世、3 世の子弟など 35 人程度。2~5 人程度にクラス分けした。子供たちは小学生から高校生までで殆どの子供たちは誘拐の危険を避けるために保護者が送迎していた。当時から任天堂 DS が流行しアニメに夢中で子供たちが日本語を勉強する大きな動機の一つであった。みんなの日本語、その他の図書、ビデオ、CD、テープなどのツールが完備されており、教室は 2 室用意されていた。



2005/韓国人留学生, 東京国際交流館にて

帰国後、弘明寺会館で留学生との交流を再開した。この時期、宮丸さんから引き継いだ RKK のホームページ(HP)に苦戦していたところ矢野さんが引き受けてくれ大いに助かりました。お陰で HP は現在の状態まで拡大、充実され、今や RKK 活動にとり必須のツールになっている。

RKK ニュースは 2000 年 10 月に第 1 号を発行しています。池添さんがニュースのフォント、記事とその一部英訳文を併記するなどすべて規定して A4 紙面で発行、宅配便と郵便で配布した。現在、広報委員で年 4 回発行し、主に HP、pdf で配布している。広報委員として 2007 年から年 1 回 RKK ニュース編集を担当している。



2003/明学交換留学生(カナダ)



2005/日本語学校 教室風景



2005/7 ティファナ日本人協会



2005/ミャンマーから





トンネルを抜けると一面の紅葉だった（陸羽東線：鳴子峡）

おもな活動（2022/8 から 2022/10 まで）

スタッフミーティング

- ◇9/23 に対面式の 2022 年度第 2 回スタッフミーティングを開催。コロナ禍のなか、15 人のスタッフが参加し、2022 年度事業計画を踏まえて G&C（報告、連絡、相談）を実施。

活動グループ

- ◇日本語支援 G：オンラインを主体とした 1 対 1 の日本語学習支援を推進。イベントの立案は保留。
- ◇文化・ファミリー交流 G：9/29、横国大 IMP のオンライン卒業記念発表会に参加。
- ◇外国語学習 G：中国語講座（10 人受講）とベトナム語講座（11 人受講）は週 1 回オンラインで実施。
- ◇社会・工場見学 G：9/14、第 73 回見学会は「そなエリア東京 & 日本科学未来館」で実施。12 人参加。

地区交流会

- ◇東地区：9/11 にオンライン交流会を実施。11 人が参加。
- ◇西地区：7/31 にオンライン交流会を実施。13 人が参加。戸塚お結び広場展示ポスターの作成。
- ◇南地区：9/22 に対面式交流会を実施。7 人が参加。
- ◇北地区：7/30 に 4 人の参加でオンライン交流会を実施。10/16 旭区民会にパネル出展。
- ◇中央地区：10/2 にオンライン交流会を実施。5 人が参加。会員の近況報告をメールで収集・配信。
- ◇湘南地区：9/22 に対面式交流会を実施。10 人が参加。

委員会

- ◇会員委員会：新入会員リクルート、入会窓口業務、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 89 号の編集。HP の更新。
- ◇キャリア支援委員会：「キャリア支援オンラインサロン」は、8 月 8 人、9 月 4 人が参加。
- ◇企画委員会：サポートセンター予約コードのパスワード更新。
- ◇会計委員会：収支決算・精算処理。
- ◇ICT 推進委員会：3 ヶ月 1 回の委員会の開催。課題の抽出と調査活動。
- ◇事務室：スタッフミーティング準備、入会の手引き・入会申込書の更新。

留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan the right QR code, or click on the search window for getting the application form.

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

大友千江（茅ヶ崎市）、藪下眞理子（港南区）（敬称略）

正会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援（留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。）
- ・文化・ファミリー交流（フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。）
- ・社会・工場見学（工場見学、名所のハイキングに行きます。）
- ・外国語学習（留学生が先生となって中国語・ベトナム語を勉強します。）

RKK の活動に興味をお持ちの方は RKK のホームページをご覧ください。

入会申込書はホームページ「入会案内」から入手できます。

編集後記

「地区からの便り」に、各区で開催される祭り/フェスティバルに参加される地区交流会の PR 記事を加えました。湘南地区では 10 月 30 日に藤沢国際交流フェスティバルが開催されます。いろいろな地区の祭り等にお出かけになって、交流を深めては如何でしょうか。「地区からの便り」では「病気になった留学生」について詳しい情報を頂きました。また、山口様のご好意で素晴らしい写真を寄せて頂きました。皆様に多々ご協力を頂き、有難うございました。

新たに「会員からの便り」を設けて、会員の交流の場にしたいと考えました。日本語支援/文化・ファミリー交流でのエピソード、共有したい話題、異文化体験、趣味などを広報委員会までお寄せください。

NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/>

ホームページを見るには で検索するか、右の QR コードを読み取って下さい。



Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 秋号担当 村田威雄

Oct.25,2022

無断転載をお断りします。